

アサヒペングループ

2025 中期経営計画

SPEC2



コンテンツ

AP SPEC180の総括

業績サマリー

主要施策総括

SPEC2 基本方針

基本方針

経営指標

SPEC2 戦略

事業戦略

財務戦略・非財務戦略



AP SPEC180の総括

1- 連結業績サマリー

売上高はペット用品事業を開始したことにより増加したが、計画には及ばず。
利益項目は売上高が計画未達 および 原材料価格の高騰などにより、計画には及ばず。

	AP SPEC180					AP SPEC180目標	
	2022年3月期 【76期】	2023年3月期 【77期】	2024年3月期 【78期】	2025年3月期【79期】		2025年3月期【79期】	
				実績	2022年3月期比	計画	計画比
売上高	14,221	17,130	17,106	17,151	121%	18,000	95%
営業利益	904	791	844	865	96%	1,000	87%
経常利益	976	995	923	943	97%	1,100	86%
当期純利益	1,003	653	380	701	70%	750	93%

(百万円)

1- セグメント別業績サマリー (塗料事業)

売上高は、コロナ禍の反動 原材料の高騰による値上による買い控えなどにより減少
営業利益は原材料価格の高騰によるコスト上昇が主因で減少

		AP SPEC180					AP SPEC180目標	
		2022年3月期 【76期】	2023年3月期 【77期】	2024年3月期 【78期】	2025年3月期【79期】		2025年3月期【79期】	
					実績	2022年3月期比	計画	目標比
塗料事業								
	売上高	8,240	7,912	7,604	7,638	93%	8,910	86%
	営業利益	622	386	481	456	73%	660	69%
	経常利益	678	466	522	495	73%	740	67%
	当期純利益	721	353	365	455	63%	490	93%

(百万円)

1- セグメント別業績サマリー (DIY事業)

売上高は、コロナ禍の反動 原材料の高騰による値上による買い控えなどにより減少
営業利益はインテリア用品の販売減が影響し、低調に推移

		AP SPEC180					AP SPEC180目標	
		2022年3月期 【76期】	2023年3月期 【77期】	2024年3月期 【78期】	2025年3月期【79期】		2025年3月期【79期】	
					実績	2022年3月期比	計画	目標比
D I Y 事業								
	売上高	5,771	5,580	5,224	4,905	85%	6,980	70%
	営業利益	181	278	152	189	104%	215	88%
	経常利益	198	321	159	198	100%	235	84%
	当期純利益	210	237	109	167	80%	161	104%

(百万円)

1- セグメント別業績サマリー (ペット用品事業)

売上高は、新規事業として計画した数値を大幅に超過 連結売上増に貢献
営業利益は、のれん償却費を吸収しつつも堅調に推移

		AP SPEC180						AP SPEC180目標	
		2022年3月期 【76期】	2023年3月期 【77期】	2024年3月期 【78期】	2025年3月期【79期】			2025年3月期【79期】	
					実績	2022年3月期比		計画	目標比
ペット事業									
	売上高	0	3,406	4,055	4,372	-		1,900	230%
	営業利益	0	2	86	128	-		35	366%
	経常利益	0	84	117	159	-		35	454%
	当期純利益	0	-21	23	49	-		21	233%

(百万円)

1- 主要施策総括【AP SPEC180全体総括】

AP SPEC180重点施策の状況

AP SPEC180活動ポイント	総括	SPEC2に向けて
営業力の強化	主力の塗料事業・DIY用品事業においてコロナ禍の反動や世界情勢による原材料の価格高騰・円安等による値上により販売が低迷し計画に及ばず。	ペット用品事業・リフォーム事業・EC事業の拡大を図る。
商品開発力の強化	静岡工場稼働（補修材）サンパベル設立（壁紙）内製化による技術力・開発力・商品力・競争力の向上	静岡工場の設備増設
EC事業の強化	EC事業売上（2021年3月期比 255%）	EC事業の体制強化・越境EC本格参入
新規事業の立上げ	ザ・ペットの取得・ペット用品事業へ参入	新規事業に向けたプロジェクトのスタート
グループ全体の業績向上	ペット用品事業・サンパベル設立・静岡工場稼働	新規事業・新規販路の開拓 ペット用品事業・リフォーム事業の拡大

SPEC2 基本方針

アサヒペングループの経営 基本方針

暮らしを彩り 住まいをまもる

- アサヒペングループは、みんなが笑顔になれる社会の実現を目指し、経営理念に「暮らしを彩り 住まいをまもる」ということを掲げています。この理念に基づき、持続可能なよりよい社会とより豊かな暮らしを実現するために、長期を見据えて、より良い未来を作り出すための事業活動を展開してゆきます。



- このような取り組みを通じて、持続的な事業価値・株主価値の創出を行います。
- アサヒペングループは新中期経営計画において 売上 200 億円突破を目標に掲げ、営業利益率5.6%の早期実現を目指します。

2- 基本方針 経営理念と価値創造プロセス

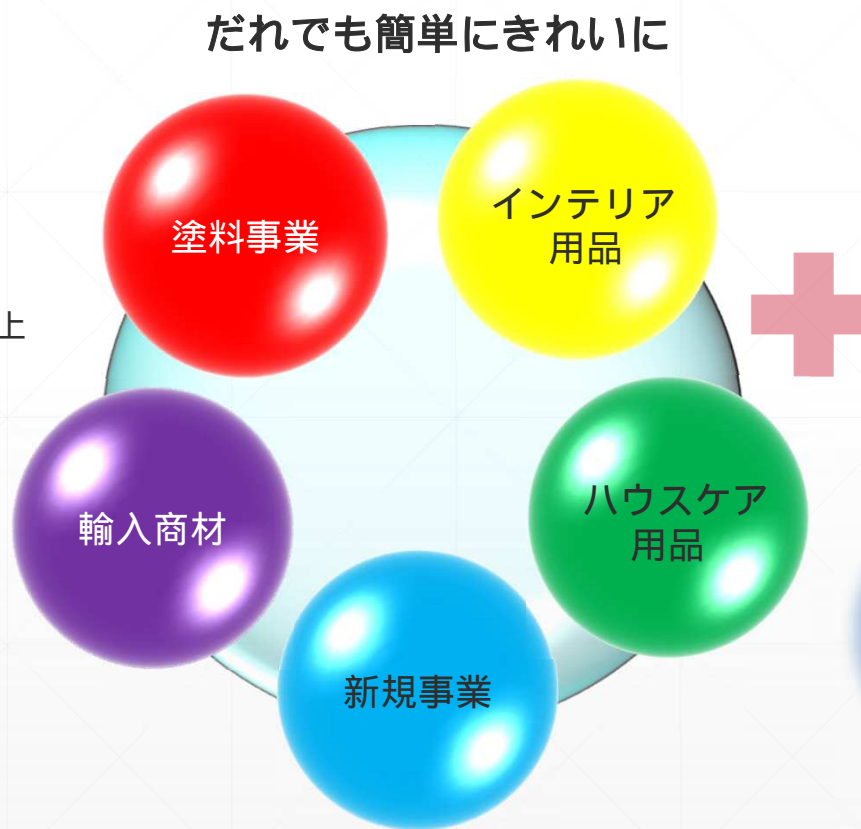
価値創造プロセス

企業理念

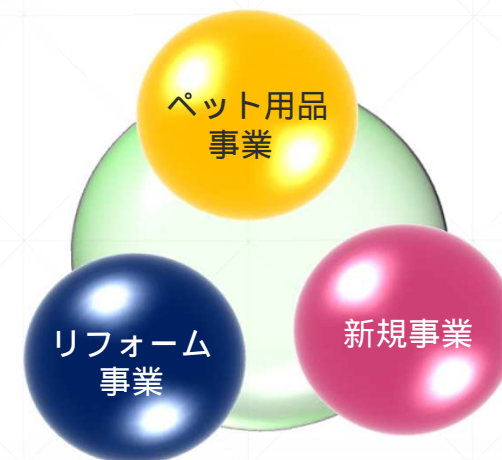
- ・誠意を貫く 信用第一主義
- ・不可能を可能にする 積極経営
- ・高収益高賃金を実現する 生産性向上

経営理念

「暮らしを彩り 住まいをまもる」を
トータルコンセプトに、優れた製品と
サービスをお客様に提供し、住生活の
質的向上と充実に貢献する。



もっと笑顔に



2- 基本方針～SPEC2戦略

SPEC2 戦略

事業戦略

成長事業への積極的投資と強化

新規事業への挑戦

新規販路の開拓

業務プロセスの改善と生産性の向上

財務戦略・非財務戦略

● 資本効率を意識した経営の推進

● 総還元性向を意識した株主還元

● 安全・環境に配慮した取り組み

● 人的資本経営による企業体質の強化

SPEC2目標：売上高200億円 / 営業利益率5.6%

SPEC3 2030

2- 経営指標

SPEC2最終期の2028年3月期では売上高200億円、営業利益率5.6%以上を計画

10ヵ年計画の最終期となる2031年3月期に向けての重要な3年間

	AP SPEC180
	2025年3月期 【79期】 実績
売上高	17,151
営業利益	865
営業利益率	5.0%
経常利益	943
当期純利益	701



SPEC2	
2028年3月期【82期】	
計画	2025年3月期比
20,000	117%
1,130	131%
5.7%	+0.7pt
1,180	125%
730	104%

(百万円)

2- 経営指標

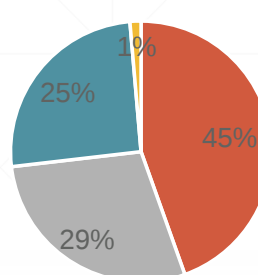
塗料事業については5%の増加を計画
 DIY事業については12%の増加を計画
 ペット事業については3%の増加を計画
 その他(新規事業 リフォーム事業等)について大幅な伸長を計画

		AP SPEC180	
		2025年3月期【79期】	
		計画	実績
塗料事業	売上高	8,910	7,638
	営業利益	660	456
DIY事業	売上高	6,980	4,905
	営業利益	215	189
ペット事業	売上高	0	4,372
	営業利益	0	128
その他	売上高	2,110	235
	営業利益	125	90
合計	売上高	18,000	17,151
	営業利益	1,000	865

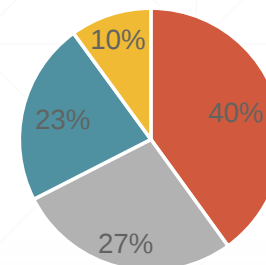


		SPEC2	
		2028年3月期【82期】	
		計画	2025年3月期比
塗料事業	売上高	8,000	105%
	営業利益	527	116%
DIY事業	売上高	5,500	112%
	営業利益	230	122%
ペット事業	売上高	4,500	103%
	営業利益	136	106%
その他	売上高	2,000	851%
	営業利益	236	262%
合計	売上高	20,000	117%
	営業利益	1,130	131%

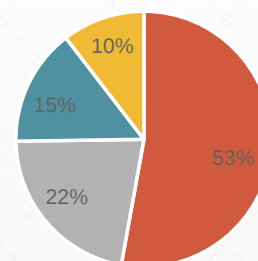
(百万円)



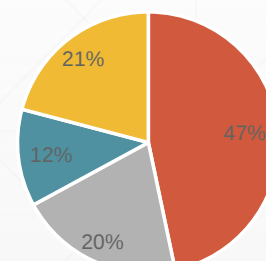
売上構成比
【79期 82期】



■ 塗料事業 ■ DIY事業 ■ ペット事業 ■ その他



営業利益構成比
【79期 82期】



■ 塗料事業 ■ DIY事業 ■ ペット事業 ■ その他

SPEC2 戦略

3- 事業戦略【塗料・DIY用品事業】

塗料事業

基本戦略

再成長への挑戦

市場ニーズに応じた継続的な新製品の開発と投入

新規販路の開拓



主要施策

- SNS等 積極的な情報発信 フォロワー5万人
- 各メディアを活用した販促活動強化
- 外部連携による販売体制の構築

DIY用品事業

基本戦略

内製化製品の販売強化

市場ニーズに応じた継続的な新製品の開発と投入

新規販路の開拓



主要施策

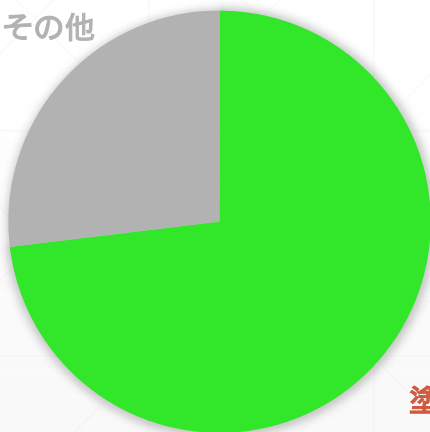
- 生産設備増強による競争力強化
- 内製化による開発スピードアップ
- 外部連携による販売体制の構築

3- 事業戦略【塗料・DIY用品事業】

生活環境・気候変動など日々の生活の中で変わっていく環境のなかで、「自分でできることは自分です。」これがD I Yです。遮熱塗料を塗ったりガラスに遮熱シートを貼ったり、防災用品や災害時の事前準備などできることはたくさんあります。お気に入りのものを美化、またその状態を保持することもできます。

アサヒペングループにおける
2025年3月期 売上構成比

ペット用品・その他
事業
27%

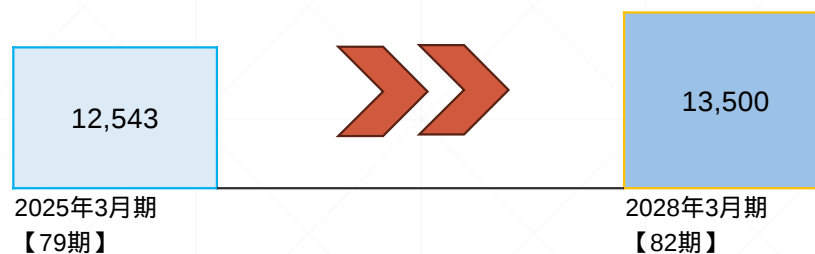


塗料・DIY用品
事業
73%



3- 事業戦略【塗料・DIY用品事業】

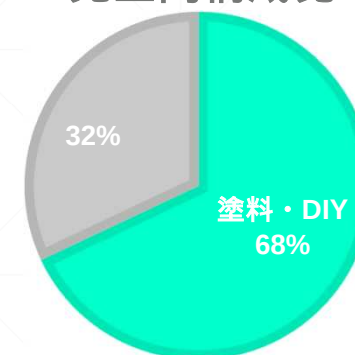
売上高（百万円）



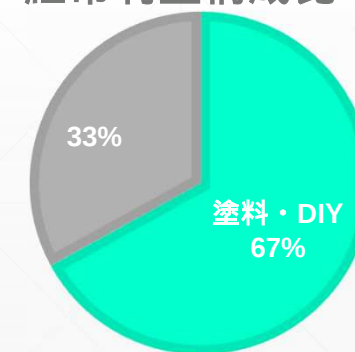
経常利益（百万円）



2028年3月期
売上高構成比



2028年3月期
経常利益構成比



3- 事業戦略【ペット用品事業 その他】

ペット用品事業

基本戦略

販売エリアの拡大

新規販路の開拓



主要施策

- 新倉庫の稼働 出荷能力増強
- 専門店の販売強化
- ネット通販企業との取引強化
- 新規 ホームセンターとの取引開始

その他

基本戦略

リフォーム・物流などの既存事業の
拡大

新規事業



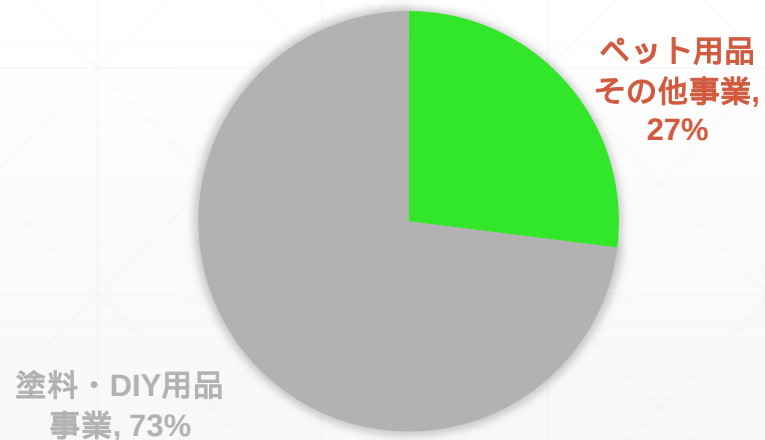
主要施策

- 塗料事業・DIY用品事業と連携した
リフォーム事業の本格参入
- 戦略的拠点配置
- 新規事業に向けたプロジェクトのスタート

3- 事業戦略【ペット用品事業 その他】

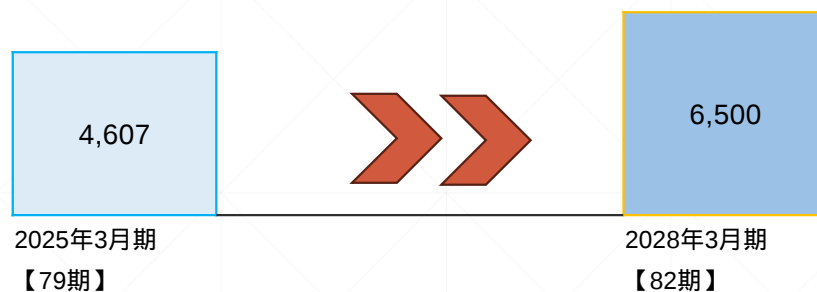
塗料・D I Y事業以外の大きな柱として
ペット用品事業、その他の売上構成比を上げていく。

アサヒペングループにおける
2025年3月期 売上構成比

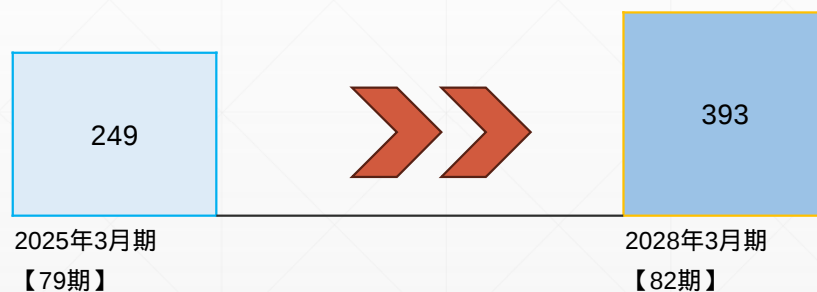


3- 事業戦略【ペット用品事業 その他】

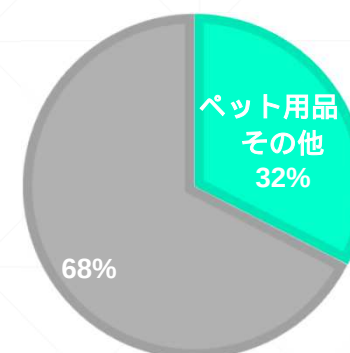
売上高（百万円）



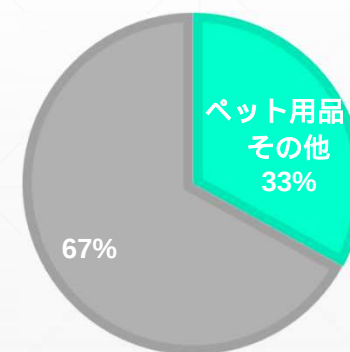
経常利益（百万円）



2028年3月期
売上高構成比



2028年3月期
経常利益構成比



3- 事業戦略【新規事業】

「そしてもっと笑顔に・・・」

誰でも簡単にきれいに プラス
もっと笑顔になっていただける事業を提供する。

目標

- SPEC2 最終年度
- 売上高 10億円
- 持続的かつ成長性のある分野にて、
製品・サービスの創出と事業化

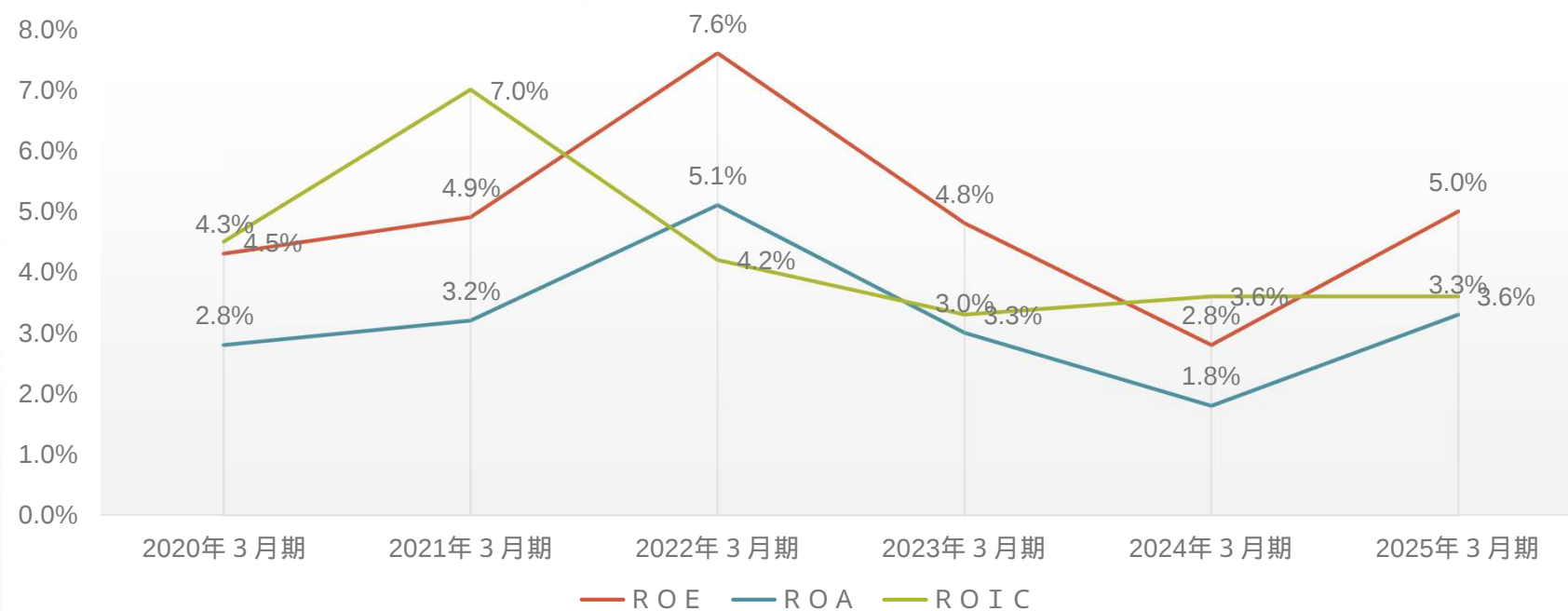
戦略

- ビジネス拡大に向けた
グループ協力体制の強化
- 新規事業の立上

3 - 財務戦略・非財務戦略

- ・財務戦略：資本効率

- ROE・ROA・ROICの推移



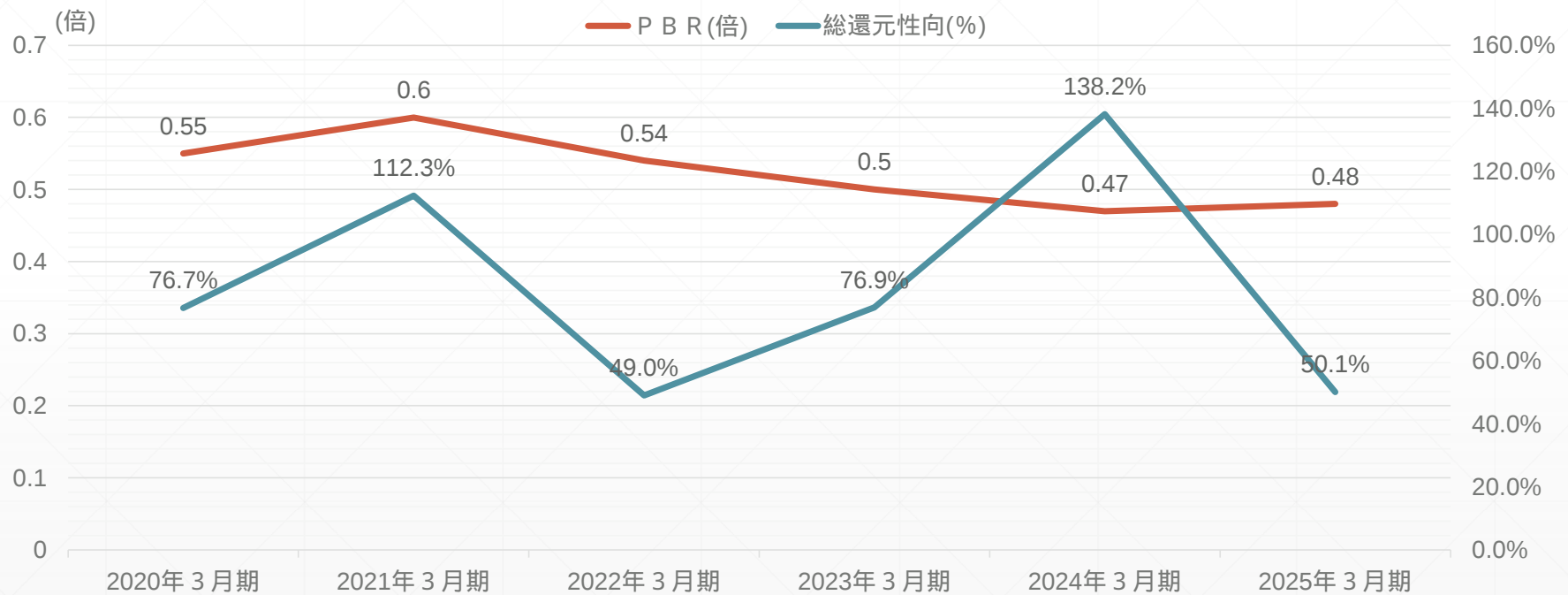
2024年3月期のROE、ROAの低下は子会社で発生した元従業員の不祥事に係る損失計上による

ROEは資本コスト(2.5%と認識)を上回る水準で推移

3- 財務戦略・非財務戦略

- 財務戦略：株主還元

- P B R・総還元性向の推移



3 - 財務戦略・非財務戦略

- ・財務戦略：方針 資本効率と株主還元を意識した経営

指標	A P S P E C 1 8 0 平均値	取り組み方針
R O E (自己資本利益率)	5 . 0 %	・資本コスト(2.5%と認識)を上回る水準を維持
R O A (総資産利益率)	3 . 3 %	・事業活動や政策保有株式の縮減により得られたキャッシュの効果的な使用
R O I C (投下資本利益率)	4 . 9 %	・適切な資金調達と自己資本の圧縮 ・効果的な事業投資による営業利益の創出
P B R (株価純資産倍率)	0 . 5 0 倍	・適正な資本構築のための自己株式の取得による自己資本の圧縮
総還元性向	7 8 . 6 %	・安定配当の維持と自己株式の継続的な取得 ・取得した自己株式は消却を含め効果的な活用を検討

3- 財務・非財務戦略

- ・ 非財務戦略：安全・環境に配慮した製品の開発

当社グループは、これまでも安全と環境に配慮した製品の開発に取り組んでまいりました。これからも、e c o な製品の開発を推し進めてまいります。



ゴミの削減

使用時に生じる廃棄物の削減を念頭に置いた製品開発を進めています



水性化の推進

安全で人と環境にやさしい水性塗料の開発に取り組んでいます



スプレー塗料の
ノンフロン化

遮熱効果



3 - 財務・非財務戦略

- ・ 非財務戦略：人的資本経営による企業体質の強化

人財の多様性を活かし、育成する

- 新卒及び中途の採用活動の活性化
- ジョブローテーションやグループ企業間の人事交流の活用
- 女性、高年齢者、障害者が活躍できる環境整備
- 自己啓発支援、研修機会等の積極提供

安全で快適な労働環境の整備

- 健康経営の推進
- 労災ゼロ、傷病休職ゼロへ
- 残業時間を限りなくゼロへ
- 福利厚生施策の推進



暮らしを彩り 住まいをまもる



免責事項

本資料のうち、業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。